

部会での意見と対応方針【街並み・交通アクセス部会】

協議会事務局  
令和2年10月28日

No	項目	意見等	対応方針	委員発言
1	全体	アクションプラン検討用資料に書かれた取組について、定量的な数値をベースに順位付けしてはどうかと思う。 ⇒(事務局)可能性があるものをアクションプランに記載し、その中で優先的に取組む施策を行っていききたい。	・第3回部会にて、新駅からの2次交通路線を関連数値と併せて示す補足資料を提示した。この内容をアクションプランに盛り込む。	第2回部会
2		アクションプランの位置づけをまず明確にする必要がある。	・第3回部会にて、アクションプランの位置づけと2次交通対策の全体スケジュールについて整理した補足資料を提示した。この内容をアクションプランに盛り込む。	第2回部会
3		全体を通してどのようなスケジュールとなるのか示したほうがいい。	・第4回部会で、全体スケジュールのうち「フェーズ1(開業3年前まで)」で行うことについてもう少し掘り下げたい。	第2回部会
4		第3回部会配布資料2「新駅からの2次交通路線」に、第3号ふ頭を入れてはどうか。10年後には立派なクルーズ船のターミナルになると思う。 第3号ふ頭まで定期的にバスは入ってこないと思うので、タクシーでの乗り入れにしたいと思う。このことを踏まえて、検討いただきたい。	・表現方法について検討する。	第3回部会
5		アクションプランの取組を実効性のあるものにするためには、個々の取組内容について、じっくり検討していくということが必要。推進体制、組織を別建てで考えていただきたい。	・アクションプランの推進体制と進捗管理の説明ページに、「検討の進捗状況や対応に応じて、その都度、推進体制を構築する」旨を文章と図で示すこととする。	第3回部会
6		(アクションプランの各取組について)各項目を誰が中心に行うのか、その道すじを事務局の方で立ててほしい。		第3回部会
7	1(1) バス交通の充実について	現在の施策内容は具体的すぎるので、利用状況を踏まえて取組内容を変えられるような書き方してほしい。先行事例も踏まえ、需要に見合った取組を考えたほうが良い。	・交通事業者とのヒアリングを踏まえ、内容を修正する。	第2回部会
8		新函館北斗駅でも2次交通が足りないという話があり増便した。結局、便数を見直すこととなったので、需要を踏まえて考えていただきたい。		第3回部会
9		検討用資料(案)をベースに、バス事業者と個別で議論を進めてほしい。		第3回部会
10	1(2) タクシーサービスの充実について	現在の取組が(全て)できれば理想的だが、需要に見合った取組を考えたほうが良い。現在の取組から絞り込めれば良いと思う。	・交通事業者とのヒアリングを踏まえ、内容を修正する。 ・取組の概要の並び順を変更する。(「ウーバー、IoTを活用した配車システムの導入」「イ。外国人観光客にも対応した観光タクシーの運行」「ア。ウ。乗合タクシーの運行」)	第2回部会
11		需要がないからジャンボタクシーを廃止した。深夜帯のためにジャンボタクシーを誰が買うのか。有効活用するために昼も運行すると、バス事業者と競合する。乗合タクシーは、バス事業者を含め慎重に議論していただきたい。		第2回部会
12		乗合タクシーによってタクシー事業者の収入が変わってくるので、乗合と通常のタクシーのどちらがいいのか考える必要がある		第3回部会
13		小樽では現在3社が携帯での配車アプリ(ジャパンタクシー、DiDi等)を締結している。現場の感覚としては外国人観光客に対応した車種よりも配車システムの方が充実してくると思う。		第2回部会
14	1(3) レンタカーサービスの充実について	レンタカー事業者の誘致とあるが、具体的には誰が行うことを想定しているのか。 ⇒(事務局)この点については、どの方向性が可能かということも含めて検討したいと思う。	・交通事業者とのヒアリングを踏まえ、内容を修正する。	第2回部会

部会での意見と対応方針【街並み・交通アクセス部会】

協議会事務局  
令和2年10月28日

No	項目	意見等	対応方針	委員発言
15	2(1) ICTを活用した 新たなモビリ ティサービスの 提供	協議会を立ち上げるイメージか。事務局ではどのように進めることを考えているか。 ⇒(事務局)令和4年度から行う予定のMaaSの研究や実証実験等の中で、協議会づくりがよいのか等の推進体制についても検討していきたい。	・取組を行う段階で、その内容に応じた体制を構築する。 ・取組の概要またはスケジュールに、「推進体制について検討する」旨を記載する。	第2回 部会
16	2(3) 新小樽(仮称) 駅の交通結節 点機能の向上	大雪や台風といった災害によってJR(在来線)やバスが運休になってしまった時の2次交通(定額タクシーによる代替輸送等)のあり方を事前に考えておく必要がある。	・取組の概要「ア. 利便性の高い駅機能の確保」に、「災害時の情報提供の対応」に関する内容を記載する。	第3回 部会
17		新駅舎内には物販施設がない。新駅の1日の利用者数は約1,000人と想定されているので、無人の販売システムがあれば良いと思う。事務局に、参考資料として無人の販売システムの事例を収集してほしい。	・無人の販売システムを導入している事例の収集・整理を行う。 ・各事例を基に、新小樽(仮称)駅に導入する場合の条件について整理し、今後の駅舎付帯施設の議論の参考とする。	第2回 部会
18		タクシー以外にもバスについてもMaaSを含めて利便性の向上を図るという認識で良いか。⇒(事務局)バスについてもその認識で考えている。	・取組の概要「ア. バスの利便性向上の環境整備」について、MaaSを含めた取組であることが分かる内容に修正する。	第3回 部会
19		課題解決の方策に「既存路線の新駅経由の困難のため乗り継ぎ利便性の向上を検討する」とあるが、一方ではシャトル便の新設とあり、整合がとれていない感じがする。 ⇒(事務局)検討用資料(案)P.4のスケジュールで市が運行支援を行うとしているが、内容が見えにくいので、全体の整合性を図るよう修正したい。	・アクションプランの冒頭に、アクションプランを推進するための支援策も併せて行っていく旨を記載する。 ・課題解決の方策について、乗り継ぎ利便性の向上はバスの利便性向上策の一つであることが分かる内容に修正する。	第3回 部会
20	2(4) 移動円滑化の 取組みの推進	既存路線の新駅経由について、個別の打合せで何が課題となるのか議論してほしい。なんとか新駅を経由する方向で調整していただきたい。 ⇒(事務局)例えば既存路線の全便ではなくとも新幹線のダイヤに合わせて何本か運行していただけないか、交通事業者と調整しながら検討を進める。	・交通事業者とのヒアリングを踏まえ、内容を修正する。	第3回 部会
21		乗り継ぎ拠点を設けるよりは、新駅にバスが直接入ったほうが確かに利便性は良い。現在の奥沢十字街の状況からすると、しっかりした待合所を設けるというのは難しいのではないかと思う。		第3回 部会
22		駅前広場等の整備のうち駐車場について、商工会議所として大規模駐車場を要望しているが、これから規模の要望をとりまとめて道や市に要望するという認識で良いか。 ⇒(事務局)要望については今後話を聞くことになると思うが、駐車場の規模については戦略会議において、現状の300台をさらに増やす必要があるのかどうかといった議論を行うことになる。	・駐車場に関する議論は戦略会議で行う。 ・アクションプランの記載内容は精査する。	第3回 部会

部会での意見と対応方針【街並み・交通アクセス部会】

協議会事務局  
令和2年10月28日

No	項目	意見等	対応方針	委員発言	
23	3(3) 新小樽(仮称) 駅周辺の魅力 づくり	駅舎デザインについてこの協議会で議論するのか。 ⇒(事務局の回答)協議会との関わりについては、今後仕組みを考えていこうと思っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体制は別途検討する。(協議会に新たな部会を設置するなど。)</li> <li>・取組の概要またはスケジュールに、「協議体制について検討する」旨の文言を追記する。</li> </ul>	第3回部会	
24		オープンガーデン等ではなく、もっと思い切った芸術性の高いようなストリートを形成して、新幹線駅に行ってみたくて思わせるような魅力ある取組を検討すべきでは。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣旨はこのままでよいと考えるが、意見を踏まえ記述を精査する。</li> </ul>	第3回部会
25		駅前の魅力づくりについては、例えばミニ奥沢水源地のようなものをつくるか、増田委員の意見を是非参考にさせていただきたい。			第3回部会
26	3(4) 移住・定住の 促進	移住促進のターゲットを明確にすることが重要。札幌市民を呼び込むというイメージか。 ⇒(事務局)札幌もターゲットの1つと考えている。ターゲットを絞るという考えはプロモーションを行う上で大切だと思うが、移住ニーズは様々なので、継続的に行っている道外の移住相談会等を含めてやっていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト対策の「企業立地の促進」とも連動する形で、取組の概要の内容を修正する。</li> </ul>	第3回部会	
27		10年後の人口減少・高齢化の中で、いかに新駅周辺地域を盛り上げていけるか。新駅停車本数は少ないかもしれないが、駅ができることで周辺住民の利便性が増すような、少なくとも悪化することがないことを示すことが必要。		第3回部会	
28		新幹線通勤に関して、他の新幹線駅の事例を調べた上で議論をすると説得力が増すように思う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存新幹線のダイヤについて事例収集・整理を行う。</li> <li>・各事例を基に、ダイヤを充実させるための条件などについて整理し、戦略会議で通勤・通学利用増に向けた議論を行う。</li> </ul>	第3回部会